

NGN時代における停電対策

~ライフラインの確保に向けて~

2008年2月26日







定義

「ライフライン」 緊急時の最低限の通話保証

原則

- ① 110、118、119 への接続可能
- ② 停電時のONU、VolPルータ、電話機への給電

課題

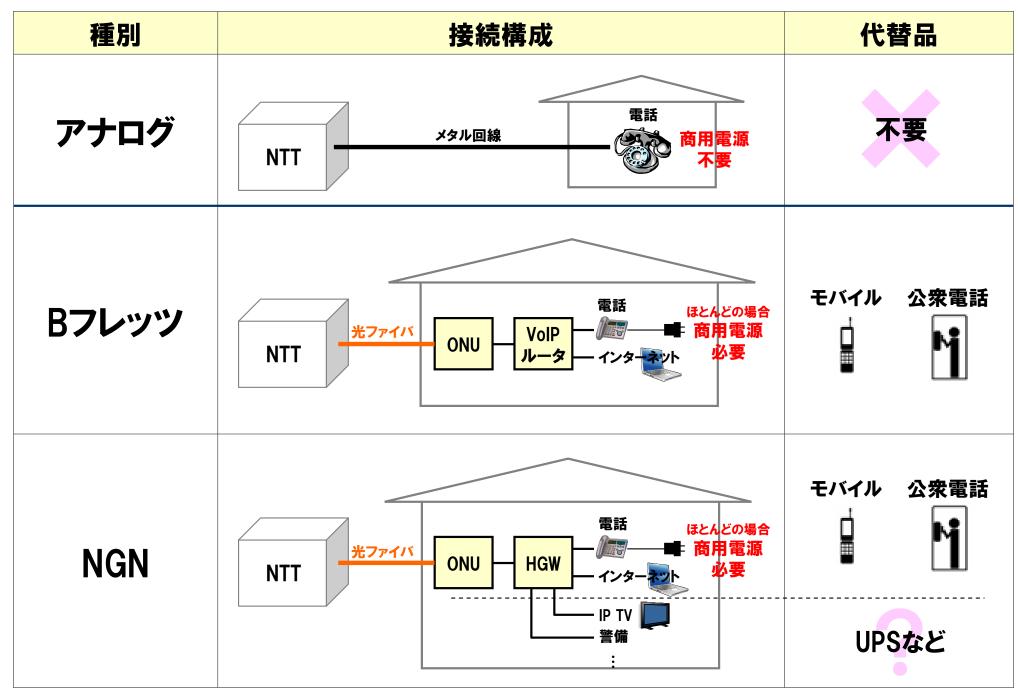
- 1 局給電で動作する電話機がほとんどない。
- ② 代替機(携帯電話、公衆電話)がある。

議論が必要



アナログ・Bフレッツ・NGNの比較







FTTHのバックアップ(海外動向)



国名	アメリカ		イタリア
社名	Verizon	AT&T	FASTWEB
構成	ONT AC バックアップ電源 アダプタ (鉛蓄電池) 12V、7.2AH 電話	FTTN方式(住宅の近くまで光ファイバを敷設し、そこから先は既存の電話線を使ったDSLサービスを展開する方式)であるため、不要	光ファイバ、ADSLに接続 PC 電話 STB+TV FAX
バックアップ時間	8~10時間	_	_

国名	日本
社名	NTT
構成	ONU ひかり電話 ホームFAX等 対応機器 Bフレッツ UPS テーブルタップ
バックアップ時間	約30分間

※詳細については、別途調査が必要



ひかり電話に対する停電対策



		停電用アダプタによる	UPSによる電源バックアップ		
		電源バックアップ	個人ユーザ向け	法人ユーザ向け	
給電対象機器		停電時利用可能電話機 +	停電非対応電話機 (ホームFAX等)	多機能電話機 (ホームテレホン等)	
		ひかり電話対応機器	T ひかり電話対応機器+ONU	_ー ひかり電話対応機器+ONU	
		ひかり電話対応機器	ひかり電話 ホームFAX 対応機器 ONU	ひかり電話 ホームテレホン 対応機器 ONU	
宅内機器構成		「停電用 アダプタ 最大28W 対応 オキシライド乾電池(単3)10本 ※1本160円程度	□ AC □ AC □ AC □ AC □ AC □ B大33W対応	□ AC	
目標	給電時間 (待ち受け)	30分	30分		
目標性能	給電時間 (通話)	30分	30	分	
	価格	505M / B	(保守)有:19,950円 無:13,650円	(保守)有:29,925円 無:25,200円	
	月額換算	525円/月	(保守)有:415円/月 無:285円/月	(保守)有:625円/月 無:525円/月	

※金額については税込

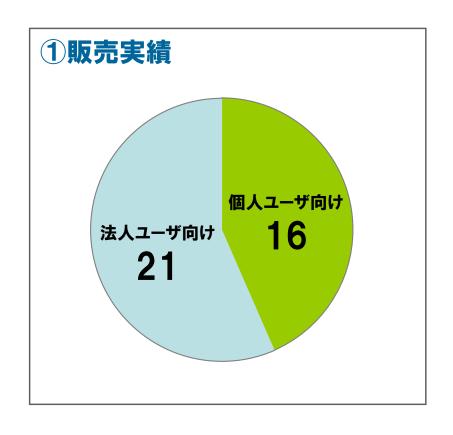


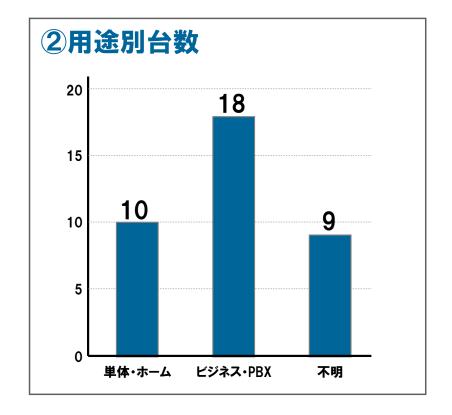
UPSによる電源バックアップ 販売実績



集計期間:2007.3.28~2008.2.7 件数:37件

- ①PR不足による販売台数の伸び悩み
- ②個人向けのサービスとして開始したが、法人からの問い合わせが中心
- ③販売実績も「法人ユーザ」が約6割
- 4中小企業ユーザのホームテレホンのONUおよびルータのバックアップとして使用

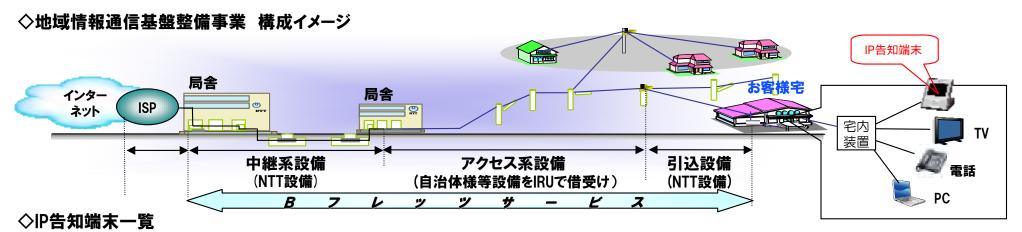






地域情報通信基盤整備事業における災害時緊急告知用の IP告知端末の電源バックアップについて





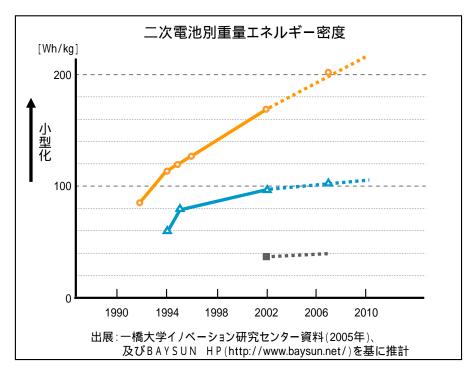
品名	音声/映像	消費電力	質量	寸法 (突起物を除く)	バックアップ 電源の有無
VP1000	音声/映像	24W(最大)	1.7kg	W:214×D: 227×H:243mm	×
VP1500	音声/映像	26W(最大)	2.0kg	W:210×D:196×H:233mm	×
NX-220HU	音声	8W(定格時) 10W(最大)	470g	W:134.5×D:192.6×H:57mm	_
CM5530TN	音声	調査中	調査中	調査中	〇 (約60分)
CM5540TN	音声	15W以下	約1.0kg (本体のみ)	W:180×D:255×H:52mm	〇 (約60分)
CM7550TN	音声	調査中	調査中	W:180×D:245×H:72mm	_
KT02	音声	9W(最大)	760g	W:109×D:156×H:91mm	_
CM200	音声	15W(最大)	630g	W:250×H:70×D:250mm	_
RG601TX-SP	音声	8.3W(平均) 12W(最大)	460g	W:200×D:157×H:54mm	_
アイツーネット	音声	0.5W	調査中	W:125×D:160×H:36mm	_
CATVインターネット	音声/映像	15W以下(音声) 30W以下(映像)	2kg以下(音声) 3kg以下(映像)	W:210×D:300×H:50mm(音声) W:340×D:230×H:40mm(映像)	0

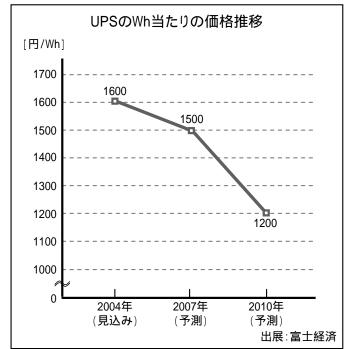


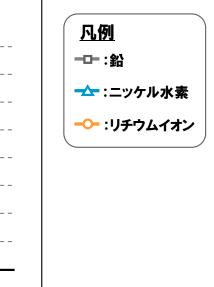
UPS小型化・低廉化に向けた動き



		現状	将来	
小型化	イメージ	2 MM III		
	バッテリ種別		リチウムイオン	
	サイズ	W:86×H:155×D:323mm ▲5	5% W:200×H:44×D:285mm	
	重量	5.5kg ▲ 3.6	5kg 1.9kg	
	装置容量	300 VA 、180W	72VA、50W	
	保持時間	約30分(33Wで使用時)、9分(定格負荷時) リミッター有り	30分(定格負荷時)	
	課題	重量、放電特性、鉛害問題など	価格、安全面	
低廉化	鉛価格の上昇 量産効果への期		量産効果への期待	





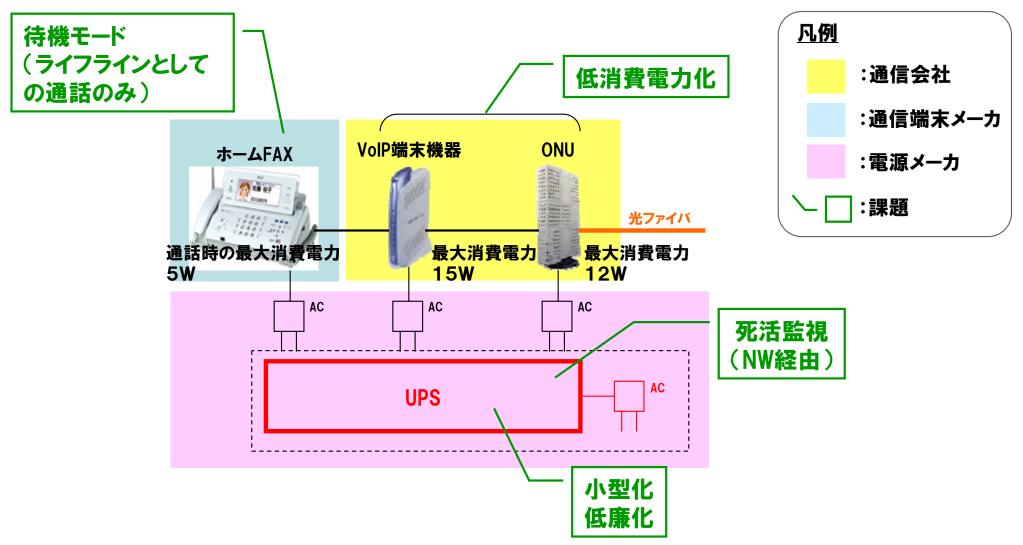




ライフラインの検討に向けて



ライフラインとして対策を考えるには、通信会社、通信端末メーカ、 電源メーカとの共同で検討し、部分最適にならず全体最適を考える 必要がある





「参考」



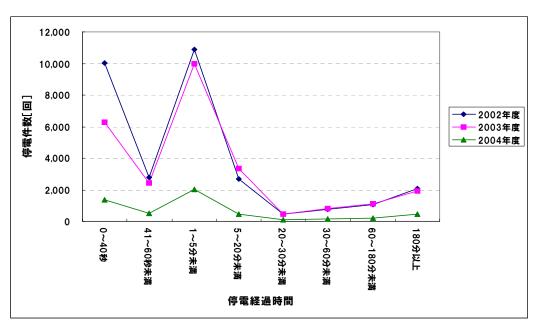
- ◇蓄電池の種類 充電が可能な電池、二次電池 ⇔ 乾電池:充電できない電池、一次電池
- ◇蓄電池の用途
 - <サイクル用途> 頻繁に充電・放電を繰り返す用途
 - <バックアップ用途> 通常は満充電状態で待機し、停電時放電する用途

蓄電池の種類	サイクル用途	バックアップ用途	特徴
鉛蓄電池	自動車 (エンジン始動用)	無停電電源(UPS)	・安い ・実績が多く、信頼性 が高い
ニッケル水素蓄電池	電動工具 自動車 (ハイブリッド車用) 電動アシスト自転車	鉄道車両 無停電電源(UPS)	・高エネルギー密度・安全性が高い
リチウムイオン電池	モバイル端末 (携帯電話・ゲーム機・ ノートPC)	マイクロ基地局	・高エネルギー密度 (特に軽い)・大容量化が難しい

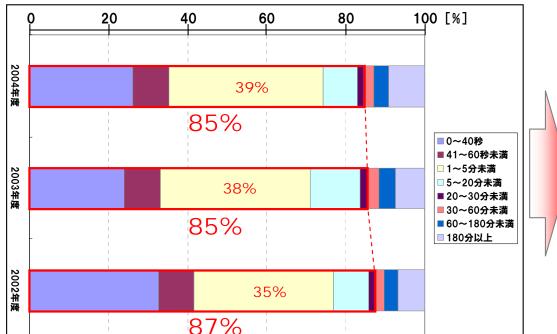


「参考」 停電経過時間別停電件数(弊社監視データより)





<停電発生回数> 2002年度 30,725回 2003年度 26,300回 2004年度(2004.4~6) 5,249回



- ・8割強の停電が30分未満
- ・1~5分未満の停電が多い